



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY



第26回例会(4月9日)  
令和3年4月16日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～  
<https://www.morioka-rc.jp/>

会 長 米内 正  
幹 事 大平 騰一  
会 報 佐藤 仁志  
クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682  
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ Rotary Opens Opportunities:ロータリーは機会の扉を開く…ホルガー・クナーケ  
盛岡RC会長テーマ 奉仕の輪を拡げ困難を乗り越えよう 米内 正



新入会員卓話

## 小児科医のたからもの

みうら小児科医院 院長

三浦 義孝 君

日本保育保健協議会 会長 岩手県小児科医会 会長  
日本小児科医会 理事  
岩手医科大学小児科学講座 非常勤講師

### 冬の開業医の一日は雪かきから始まる

朝の5時、窓の外を見ると雪が積もっています。朝の暗いうちから雪かきです。せつかく雪かきをして除雪車が来るとこの有様です。冬の開業医の一日は雪かきから始まります。

### 岩手医科大学（5年生）の体験実習

現在は中止していますが、岩手医科大学の5年生が毎週1回、当診療所に体験実習に訪れていました。履物は持って来なかった、靴下くらい履いて来てよ。今の学生とりわけ全国の医学部の5年生は、基本的疾患の病名、知らない。症状からの鑑別、全く思い浮かばない。小児科教科書、国試100問だけ。内科診断学、買ってない。解剖学的名称、すっかり忘れた。日本語、語彙が少ない。医学用語、身につけていない。どうして覚ええないの？電子辞書があるからいいの。このような傾向があるそうですが、まさに、その通りです。

### 実習の目標

実習の目標は、ありのままの診療を見てもらう、これだけです。忙しいときもあれば、暇なときもある。小児医療に興味を持ってもらえればと思って接しています。学生が実習に来ていることを患者さんに知らせ、事前に母親の了解を得た上で診察させます。小児科の楽しさ、子どもはかわいいということを知ってもらえればいいのです。

### 赤ちゃんを抱っこしている学生の表情

学生が赤ちゃんを抱っこしています。抱いたとたん、おしっこをされました。赤ちゃんの手を握っています。今度はほっぺに手をやって余裕が出て

きました。赤ちゃんはふんぞり返って泣いています。私も、抱っこしてみました。幸いにも泣かれました。

### 乳児健診や保育園・小学校にも連れていく

乳児健診や保育園に連れて行き、学生にも絵本を読ませています。小学校の健診に連れて行き、昔を思い出して、給食を一緒に食べました。

### 学生へのアンケート

一番の収穫は？：大学病院では体験できないものに触れ合うことができた。大学で見ることの少ない健診、症例をみることもできた。正常の新生児や幼児に触れることができた。大学と開業医の違い、患者さんとの接し方。開業医の雰囲気、日常が見られた。子どもに触れた、子ども向けの工夫がみられた。生まれて初めて本物の赤ちゃんを抱いて感激した。小児科医としての楽しさを教えていただいた。先生のように、好きなもののために仕事ができたらいいなあと感じた。子どもたちとコミュニケーションをとりつつ診察するところを初めて体験した。チーム医療の大切さを感じることができた。学校健診も良い経験になった。先生のムントは勉強になった。調剤薬局を見学できた。子どもの薬の味がわかった。

要望：予防接種よりも、乳児健診をもっとみたい。もう少し長い期間実習をしたい。もう少し診察がしたかった。

学生の90%は将来小児科医にはなりません。授業の一環として訪れているので、学生の態度も様々で消極的な学生もいましたが、大半は「良かった」

た」、「面白かった」という感想でした。

### 親になるために最も必要なこと

看護学生、高校生、中学生も実習に来ています。将来親になるために最も必要なことは、子ども好き、乳幼児と触れ合う経験を増やしたりして、好ましい家族関係の維持が重要です。育てられている時代に育てることを学ぶことが大切です。

### 子どもたちの無邪気な姿

子どもたちは、自分の大好きな玩具を持って来て、私に見せてくれます。「誕生日に買ってもらったおもちゃだよ」、「仮面ライダー龍輝！」テレビで覚えていろいろな芸を見せてくれます。「そんなの関係ねえ」、「オパッピー！」。子どもたちが書いてくれた私の顔、今と違う？ 瘦せている？ 私も、昔は瘦せていました。

お手紙をもらいました。「先生大好き」、「お世話になっています」、「点滴、ありがとう」、「感謝状」。自分が関わった子どもたちが、新聞に載ったり、表彰されたりすると嬉しいものです。「お陰様で、今日入学しました」、「卒園できました」、おばあさんと一緒に報告に来ました。

「小児科には何歳まで来ていいの？ 大人になっても来ていいの？ 俺、来たいんだけど…」。つい、5～6年まで来院していた患者さん、結婚して、子どもを連れて来ました。その母親、おばあさんになりました。その孫です。小児科冥利に尽きます。

先日、昼の会議から戻ると机の上にお土産と手紙が置いてありました。生後1か月の時に診た胆道閉鎖の子です。埼玉大学の教育学部に通っていました。「この春、卒業し、大学院に進み、将来は岩手に戻って小学校の先生になります。先生もお体を大切に、頑張ってください」と…、涙が出ました。

### 小児科医のたからもの

小児科医の仕事は病気を診るだけではありません。いつも子どもたちの健全育成に関わり、子育てに関する問題の代弁者であり支援者です。

私のたからものは、歳月を超えた子どもたちとの「きずな」です。子どもたちの笑顔で小児科医を続けることができます。

## 例会報告

### 第26回例会

令和3年4月9日(金)

場所：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

12時30分 開会点鐘

- ・司会 米内正会長
- ・ロータリーソング（われらの生業）
- ・四つのテスト斉唱
- ・会長報告 米内正会長

- ・入会祝 田中堯史・吉田幸一・  
 畠山将樹君
- ・誕生祝 畠山将樹君
- ・幹事報告 大平藤一幹事
- ・委員会報告

### 【ニコニコBOX】

- ◆西島光茂君…三浦義孝先生の「小児科医のたからもの」卓話ありがとうございました。先週の「ヒトにおけ

る子育ての意思決定」などという硬い話でなくて楽しい話です。こうすれば「子育て」を楽しめそうですね！ 良い話でした。すばらしいお話をありがとうございました。

- ◆米内正君…本日は三浦義孝先生から「小児科医のたからもの」と題する卓話を頂戴いたしました。感謝してニコニコします。

### プログラムのお知らせ

- ・4月16日(金) ゲスト卓話 松田文登様（㈱ヘルラボニー 副社長）
- 23日(金) 会員卓話 畠山将樹会員「『ロータリーの友』のすゝめ」
- 30日(金) 特別休会
- ・5月7日(金) 新入会員卓話 三原康展会員
- 14日(金) ゲスト卓話 右京昌久様（盛岡いのちの電話 理事長）
- 21日(金) 新入会員卓話 晴山和泰会員



●本号編集担当／菅原浩幸